

LPガスCP情報(2016年8月積み)

1. 8月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン285^{ドル} (前月比-10^{ドル})

ブタン 290^{ドル} (前月比-20^{ドル})

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況が大幅に軟化するなか、産ガス国の供給が潤沢なうえ消費国の在庫が高く不需求期でプロパン、ブタンともに需給は緩和、スポット市況は、CP先物が原油市況に追随し続落した。産ガス国アクセプトランスは一部前倒し、フレート市況は米国玉のキャンセルもあり需給緩和で軟化、この結果極東CFR市況も弱含みCPプラス10^{ドル}どころのディスカウント市況、プロパン、ブタンともに300^{ドル}どころで推移した。ナフサは原油市況に連れ軟化、月間平均では395^{ドル}、前月比30^{ドル}の下落となるもナフサ高ブタン安、ただ、石化のブタン需要は在庫でカバーできているもよう。バンカーオイルは、月間平均では245^{ドル}、前月比ほぼ横ばい。一方、米モンベルビュープロパンスポット価格は、不需求期で全米プロパン在庫が増加、原油市況の軟化もあり22日はプロパン245^{ドル}に続落。NWE(北西ヨーロッパCIF)も軟化し280^{ドル}どころとなっている。

8月CPは前年同月比プロパン80^{ドル}、ブタン110^{ドル}のそれぞれ下落。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン3ポイント高、ブタン変わらず、前年同月比プロパン1ポイント高、ブタンは5ポイント低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	26	24	24	24	25
CP先物指標：P	305	300	300	285	298
CP先物指標：B	320	315	310	290	412

② 原油市況等

WTIは7月48.99^{ドル}でスタート、Brexit(英EU離脱)ショックから金融市場は落ち着きを取り戻し欧米株価の上昇などがみられたが、商品市場は対ユーロドル高によりドル建て原油の割高感から軟化した。ナイジェリア武装集団による石油施設への攻撃等で中旬に反発する場面もあったが、米リグ稼働数が4週連続で増加し、米原油生産量も下げ止まり、米ドライブシーズンの需要増期待もガソリン在庫が予想外の増加で失望売り、OPECの輸出増など世界的な供給過剰及び超高水準在庫などから続落し27日には41.29^{ドル}、ドバイは40^{ドル}割れと4月以来の安値に沈んだ。一方、NYMEXのWTI総取組高は27日時点で172万枚、前月末比3万枚の減少。大口投機玉の買越残高は19日で29万枚と前月比1万枚の減少、買い建玉以上に売建玉が増加した。

○7月積みアラビアン・ライト(7月1~27日)は43.37^{ドル}(前月比-3.3^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン355.59^{ドル/トン} ブタン350.71^{ドル/トン}

AL比 プロパン80.15% ブタン82.69%

*上記アラビアン・ライトはE I N推計値、確定値は後日、Webサイトでご確認ください。

2. 2016年8月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
21~20日①	104.05	30,200	31,200	-3,900	-5,600
26~25日②	104.48	30,300	31,300	-3,400	-5,100
1~30日③	104.96	30,400	31,500	-2,900	-4,400

*TTS平均は①が6月21日~7月20日まで、②は6月26日~7月25日、③は7月1~28日まで、①、②、③ともに8月仕切適用。①、②、③いずれも前月・当月CP50%案分。なお、6月24日は英EU離脱国民投票により急激な円高となり、TTSは午前106.76円/ドルから午後101.76円/ドルに修正された。上記TTS平均は修正後の101.76円/ドルを採用している。(詳細はWEBサイトのLPガス価格推移表等を参照)。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、価格制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意下さい。